口腔がんの最新治療学ぶ

西部地区

大阪市西部地区は10月25日、大阪大学歯学部・大学院歯学研究科顎口腔腫瘍外科学講座講師の森田祥弘氏による講習会「大阪大学歯学部附属病院口腔がんセンターの現状と展望～診断から最新臨床・基礎研究まで」をM&Dホールで開いた。ウェブ参加をあわせて60人が参加した。

森田氏は、2018年に開設された口腔がんセンターが大阪・関西一円から多くの患者を受け入れ、診断・治療している現状を紹介。治療の第一選択は外科的療法であり、術後の機能障害が大きな課題となることから、同センターでは術後再建と機能回復に努めているという。

森田氏

同氏は、口腔がんの診断の注意点を解説した上で、再建では前腕皮弁や肩甲骨皮弁などを用いた術式を説明した。さらに顎骨再建用チタンプレートにコンピューター・シミュレーションを活用する最新の取り組みも紹介。口腔がんの疑い事例については積極的に同センターに紹介するよう呼びかけ、早期対応の重要性を強調した。

北河内地区講習会

歯科訪問診療の実践を解説

北河内地区は10月25日、ドーンセンターにて講習会「歯科訪問診療・実践解説～手続きから算定まで～」を開催した。社保研究部部長の平尾清司副理事長が講師を務め、20人が参加した。訪問診療するうえでの注意点や算定のポイントについて講師の経験などをもとに解説した。

平尾氏

訪問診療の際に発生する外来診療との差や書類の整備、多職種との連携などの要点を説明し、機材が揃わないのは当たり前であり、無理せず次に回すことが大切であるとした。また、訪問診療が患者にもたらす精神的な効果や、介護保険との兼ね合い、考え方なども話された。

第8回理事会報告

会員の声を最後まで届けよう

協会は8日、第8回理事会を開いた。金パラを含む物価高対策の緊急財政措置や歯科診療報酬の正当な評価を求め、10月30日に取り組んだ国会要請行動では、4人の国会議員と面談し、秘書対応を含む与野党8会派25人の国会議員に声を届けたことが報告された。診療報酬の改定率が決まるまで「会員署名」を通じて会員の願いや声を集め、国会要請に取り組む。また、大阪連絡会で2万筆超を集めた、「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名は終了し、「保険証の復活を求める」請願署名に取り組む。

大阪府に対しては、26日にドーンセンターで開催される府交渉で口腔保健事業の拡充や国保・介護保険料の引き下げ、歯科医療や歯科技工などの提供体制、審査・指導に対する技官や事務官の資質向上の問題、物価高騰支援について質す。

このほか、新会館建設の進捗やSNSの活用などが論議された。

春夏秋冬

全国の保険料を憂う前に大阪の是正を

吉村知事「隗より始めよ」

10月21日召集の臨時国会で、自民党の高市総裁が首班指名され、第百四代内閣総理大臣となった。26年間連立政権を組んでいた公明党の代わりに新しく選んだパートナーは維新の会（以下維新）。

さて、その維新でいま、矢鱈目立っているのは「赤旗砲」で浮上した「政治とカネ」の問題を指摘され、疑念に対して開かれた記者会見の態度に、度量と品位が問われている藤田共同代表と、それを擁護している吉村共同代表・大阪府知事であろう。件の吉村氏、新政権の目玉対策!?として、「高過ぎる保険料の値下げ」を大きく掲げた。ということは、吉村知事は現状の保険料が高すぎるため、下げることが必要だと認識していることになる。「ちょっと待て!」である。大阪の現状はどうか。国民健康保険（国保）加入者1人当たりの国保料と所得を見ると、所得が60万円程度だった1987年の国保料は5万5千円程度、所得が百万円を超えたバブル期でも保険料は7万円強。その後所得は減り続け、1987年より低くなった2023年に保険料が何と10万円、1987年の約2倍である。応能負担の原則に従えば加入者の所得が減れば保険料も下げるべきだが、大阪府は所得が減り続けているにも関わらず毎年保険料を上げ続けている。

介護保険料も然り、47都道府県で最高額なのは大阪府。自治体単位で見れば全国で1番高いのは大阪市、続いて守口市、門真市と大阪府下の自治体で「表彰台独占」である。ちっとも嬉しくない。さらに言えば大阪市の介護保険料は全国一安い東京都小笠原村の3倍弱である。唖然とする。

2024年度から大阪府は全国初の「国保料府内一本化」を実施した。それまで各自治体が独自に決めていた国保料を府が決定するという事だ。その結果、国保料は全1700市町村で上から8番目という超高額設定。吉村知事には「隗より始めよ」の言葉を贈りたいと思う。全国の保険料を憂う前に、大阪の疲弊と怨嗟の声を聴け!そしてこれを是正せよ。維新は一言目には「身を切る改革」、二言目には「一般企業なら」と口にするが、税金は使わないのが正しいのではなく、富の再配分として「正しく使う」が正解である。国民の生命・健康・財産を守るために正しく使う。これが国の〝為すべき事〟ではないか。

社保講習会

3回シリーズ終わる

社保研究部

歯冠修復・欠損補綴、在宅医療を学ぶ
＝11月1日、M&Dホール

社保研究部は、11月1日社保講習会を開催し50人が参加した。本講習会は、2024年診療報酬改定での変更点を中心に、基礎の学習を目的に3回シリーズで開催。最終回の3回目は、歯冠修復・ブリッジ、有床義歯、在宅医療について歯科保険診療の研究をテキストに解説した。

歯冠修復・ブリッジについては、充填・金属歯冠修復・非金属歯冠修復・ブリッジについて解説し、特に要件が複雑で質問の多いCAD／CAM（Ⅲ）の要件について丁寧に解説した。また、欠損歯数と補綴歯数が異なる場合の事前承認ブリッジについて自身の経験を紹介した。有床義歯に係る管理料や補診について算定ルールをおさえ、義歯にまつわる算定制限や床適合の要件について解説した。

平尾清司社保研究部長、志倉興紀、山田幸平各社保研究部員が講師を務めた。

施設基準研修会のご案内

「口管強、歯援診、外安全、外感染、歯初診にかかる施設基準研修会」

日　時　12月21日（日）午前9時～午後1時
会　場　M&Dホール
講　師　野口一馬氏（兵庫医科大学医学部歯科口腔外科学講座教授）
会　費　5,000円
定　員　80人（会員限定）
お申し込みは電話かファックス

12月から金属材料改定

金パラ関連の点数は表のとおり。

金パラ点数一覧		現点数(25.9)	現点数(25.12)	増減点数
インレー単純	前・小臼	474	503	29
	大臼歯	606	649	43
インレー複雑	前・小臼	848	906	58
	大臼歯	1053	1132	79
4分の3冠	前　歯	1064	1136	72
5分の4冠	小臼歯	1004	1076	72
	大臼歯	1276	1375	99
FMC	小臼歯	1327	1417	90
	大臼歯	1672	1797	125
前装金属冠	前歯（単冠）	2251	2363	112
	前歯（Br）	2255	2367	112
	小臼歯（Br）	2181	2293	112
ポンティック	鋳造・小	1485	1594	109
	鋳造・大	1830	1975	145
	前装・前	2019	2106	87
	前装・小	1685	1794	109
	前装・大	1890	2035	145
双子鉤	大大・大小	1376	1492	116
	犬小・小小	1133	1223	90
二腕鉤	大臼歯	1006	1086	80
	小臼・犬歯	906	975	69
	前　歯	858	922	64
コンビCl	大臼歯	629	669	40
	犬歯・小臼	579	614	35
	前　歯	555	587	32
キーパー付き根面板	前・小臼	1344	1402	58
	大臼歯	1549	1628	79
根面板	前・小臼	477	506	29
	大臼歯	609	652	43
鋳造バー		2247	2433	186